

前奏 黙想	祈 禱
讚美歌 53 さかえあるいこいの日よ	讚美歌 243 ああ主のひとみ
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 出エジプト記 20:12~16	黙 禱
マルコによる福音書 10:17~22	主の祈り 564
讚美歌 II-56 主はその群れを	頌 栄 544 あまつみたみも
説 教 『まなざし、光、十字架』	祝 禱 後 奏

イエスは救いの道を求めて来た人に「行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい〜それから、わたしに従いなさい(マルコ 10:21)」と言った。世の底辺で踏みつけられ排斥されている人には驚くほど優しいイエスだが、地位高く尊敬されている者にはいやに厳しいじゃないか。おまけに彼は金持ちで(10:22)、そのことが実行の困難さに拍車をかけている。イエスと噛み合わず「思ってたんと違う」ラビだったら、「じゃ、いいですう」と去ればいいのだが、そう割り切れない所もあった。

「イエスは彼を見つめ、慈しんで言われた(10:21)」。こういう混在は困っちゃうな。律法の厳しい求めと、深い慈しみ。神の慈しみを見ないでふり払うか、慎ましく貯めた財産を見ず知らずの者に施すか。身が引き裂かれる。施した金で酒を飲まれ、賭博でスツたことを知った日にはこちらがいたく傷つく。ささやかな体験として、イエスのあのまなざしが脳裏をよぎり、なけなしの金を貸したことがある。ところが酒で残らず消えたらしく、言いようのない不快が長く残った。そんなことが幾度もあり、彼がイエスの「言葉に気を落とし、悲しみながら立ち去った(10:22)」その気持ち分かるよ。

「あなたの父母を敬え〜殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。隣人に関して偽証してはならない(出エジプト 20:12~16)」。モーセ以来の根本的な世俗法だが、イエスがそれを示すと(マルコ 10:19)、彼は「先生、そういうことはみな、子供の時から守ってきました(10:20)」と答えた。彼にしてみればそんなことは想定内の律法で、胸を張って誇らしく答えている姿が目浮かぶ。

「子供の時から守ってきた」と言うが、どれほど厳格に守ったのか。パウロでさえ「わたしは〜善をなそうという意思はあるが、それを実行できない(ロマ 7:17)」、「善をなそうと思う自分には、いつも悪が付きまとっているという法則に気づく(7:21)」と、歎きながら告白するほどの律法なのに。

その人は最初から勘違いしていた。「善い先生、永遠の命を受け継ぐにはどうすれば(マルコ 10:17)」と尋ね、イエスは「神おひとりのほかに、善い者はだれもない(10:18)」と答えた。彼の「善い先生」の基準は低い。事は「永遠の命」に関わるほどの「善い」だから、当然「神おひとり」の業であろう。ところが彼は、永遠の命を「子供の時から守ってきた」くらいのことで獲得できると予想していた。

イエスが慈しみのまなざしで彼の想定内を打ち壊すと(10:21)、「その人はこの言葉に気を落とし、悲しみながら立ち去った(10:22)」。「財産を貧者に施して、わたしに従え(10:21)」という戒め、傍らで弟子たちも聞いていたのだろう。続けて財産の難しさを語ると(10:23~25)、ペトロは「このとおりに、わたしたちは何もかも捨ててあなたに従って参りました(10:28)」と矜持を見せた。「あの男は立ち去ったが、自分たちは仰せの通り財産を手放して従っております。認めてください」という感じだ。ところが弟子たちは「しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になる(10:31)」という言葉で、金持ち男のように自負心を折られる。立ち去ろうと、従おうと、神の国は遠い(10:25)。

それでは「永遠の命(10:17,30)」につながる希望があるのか。これらの場面には一つの光がある。「イエスは彼を見つめ、慈しんで言われた(10:21)」。彼は立ち去ったが「慈しみのまなざし」の光を得た。従った弟子たちは折々、慈しみのまなざしを傍らで見ていた。この光は、まさしく十字架であった。

一直線は人間の道ではない 分岐し 蛇行し 伏流する歩み 慈しみの光を目当てにすれば大丈夫 無念のうちに立ち去った先に 決意して従った所に それぞれに慈しみの光 味は苦みのあるコク

6/24(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(山梨 YMCA)。6/30(日)2:30~分区委員会(甲府教会)、青柳均兄と牧師が出席。月報「いき」への寄稿、募集しています。詳しくは「いき」6月号裏面。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。